

デジタル情報流通市場の中期予測（要旨）

～デジタル情報流通市場は、2005年度に約14兆円へ～分野はコンテンツ・アプリケーションが年率62.8%の伸び、市場は消費者向けが年率22.3%で成長

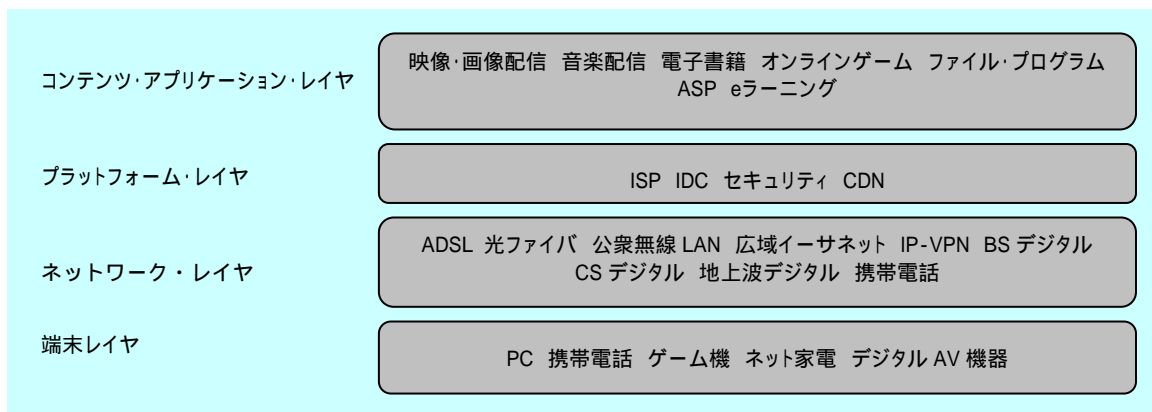
2003年3月5日

株式会社 三菱総合研究所

1 デジタル情報流通市場の定義

デジタル情報流通市場とは、デジタルネットワークを通じて提供される画像、音楽配信といったデジタルコンテンツ、アプリケーションサービス、それを流通させるためのISP、IDCなどのプラットフォーム、ADSL、光ファイバなどのネットワーク、ネット家電など利用するための端末を合わせた市場と定義する。

図1 デジタル情報流通市場の構造



2 デジタル情報流通市場の2005年までの中期予測

デジタル情報流通市場のキートrendとして、ブロードバンド化、IP化とそれに伴う、コンテンツビジネスの本格化がある。さらにASPやオンデマンド・コンピューティング等のネットワークを通じたサービスも拡大する見通しである。

デジタル情報流通市場は、2002年度が9兆円であるが、ブロードバンド化、IP化を背景に、2005年度には約14兆円へ拡大する（年平均15.4%増）。

レイヤ（階層）別にみると、コンテンツ・アプリケーション・レイヤが、現状ではまだ規模は小さいが、年率62.8%で拡大する。プラットフォーム・レイヤは、企業のアウトソーシングニーズを背景にIDCが拡大することなどにより、9,670億円から1.3兆円と、年率10.3%増である。ネットワーク・レイヤでは、企業通信網市場がIP化の影響を受け縮小するが、放送サービス、IP電話の拡大で、年率15.8%増で拡大する。端末レイヤは、デジタルテレビ、PVR（プライベート・ビデオ・レコーダ）等のデジタルAV機器の拡大により、2005年度に5.2兆円となる。

コンシューマ（消費者）市場・企業市場別では、コンシューマ市場が年率22.3%増で増

加するのに対し、企業市場は 2.1%増と低成長である。これは企業市場では、IP 化の進展で、ネットワークサービス市場が縮小し、コンシューマ市場におけるデジタル AV 機器のようなデジタル情報流通に対応した端末が出現してこないためである。

コンテンツ・アプリケーションについてみると、コンシューマ市場も、企業市場も高い伸びを示しており、ブロードバンドを利用したコンテンツやアプリケーションの利用が広がることが予想される。

表 1 デジタル情報流通市場の中期予測

単位: 億円

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	02-05平均成長率
コンテンツ・アプリケーション・レイヤ合計	1,722	3,240	5,078	7,436	62.8%
音楽・映像・電子書籍	912	1,513	2,184	3,176	51.6%
オンラインゲーム	300	549	930	1,370	65.9%
ファイル・プログラム	31	213	552	1,067	225.3%
ASP	129	455	782	1,103	104.5%
eラーニング	350	510	630	720	27.2%
参考 BtoC	13,300	17,700	21,800	25,900	24.9%
BtoB	329,000	408,000	494,000	583,000	21.0%
ネットオークション	2,200	3,100	4,000	4,700	28.8%
プラットフォーム・レイヤ合計	9,670	10,861	12,043	12,991	10.3%
IDC	3,028	3,409	3,896	4,383	13.1%
ISP	6,410	7,027	7,404	7,497	5.4%
セキュリティ	204	366	627	907	64.4%
CDN	28	59	116	204	93.9%
ネットワーク・レイヤ合計	42,627	46,723	56,204	66,184	15.8%
インターネット接続回線	8,061	9,451	10,573	11,072	11.2%
IP電話	817	1,494	3,101	3,820	67.2%
放送サービス 合計	3,230	4,225	8,974	15,911	70.1%
地上デジタル	0	0	2,305	5,173	-
BSデジタル	2,230	2,972	5,217	9,158	60.1%
CSデジタル計	1,000	1,253	1,452	1,580	16.5%
携帯電話・PHS(データ伝送)	13,471	16,436	18,852	21,247	16.4%
企業通信網 合計	17,048	15,117	14,704	14,134	-6.1%
専用線	10,439	7,591	6,751	5,836	-17.6%
データ伝送	1,971	1,208	986	759	-27.2%
IP - VPN	3,216	4,168	4,536	4,854	14.7%
広域イーサネット	753	1,123	1,313	1,487	25.5%
インターネットVPN	459	534	484	429	-2.2%
低価格データ専用線	210	492	635	768	54.1%
端末レイヤ合計	36,188	38,972	44,190	51,870	12.8%
携帯電話・PHS端末	14,963	16,072	18,028	18,698	7.7%
PC	16,917	16,312	16,305	17,781	1.7%
家庭用ゲーム機	1,416	1,328	1,160	2,127	14.5%
デジタルAV機器 合計	2,891	5,208	8,556	12,683	63.7%
デジタルテレビ(除PDP)	647	1,016	1,588	2,452	55.9%
PDP	1,328	2,672	4,292	5,659	62.1%
デジタルチューナー	116	107	104	79	-12.0%
PVR	800	1,413	2,572	4,493	77.8%
ネットワーク家電	1	52	141	581	734.4%
総合計	90,207	99,796	117,515	138,481	15.4%

資料：三菱総合研究所

表 2 デジタル情報流通市場の中期予測 (単位：億円)

< コンシューマ >

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	02-05平均伸率
コンテンツ・アプリケーション・レイヤ	1,243	2,275	3,666	5,613	65.3%
プラットフォーム・レイヤ	4,239	4,726	5,092	5,179	6.9%
ネットワーク・レイヤ	23,352	28,872	38,306	48,531	27.6%
端末レイヤ	26,670	29,403	34,579	42,219	16.5%
合計	55,504	65,276	81,643	101,542	22.3%

< 企業 >

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	02-05平均伸率
コンテンツ・アプリケーション・レイヤ	479	965	1,412	1,823	56.1%
プラットフォーム・レイヤ	5,431	6,135	6,951	7,812	12.9%
ネットワーク・レイヤ	19,275	17,851	17,898	17,653	-2.9%
端末レイヤ	9,518	9,569	9,611	9,651	0.5%
合計	34,703	34,520	35,872	36,939	2.1%

資料：三菱総合研究所

3 レイヤ別市場の 2005 年までの中期予測

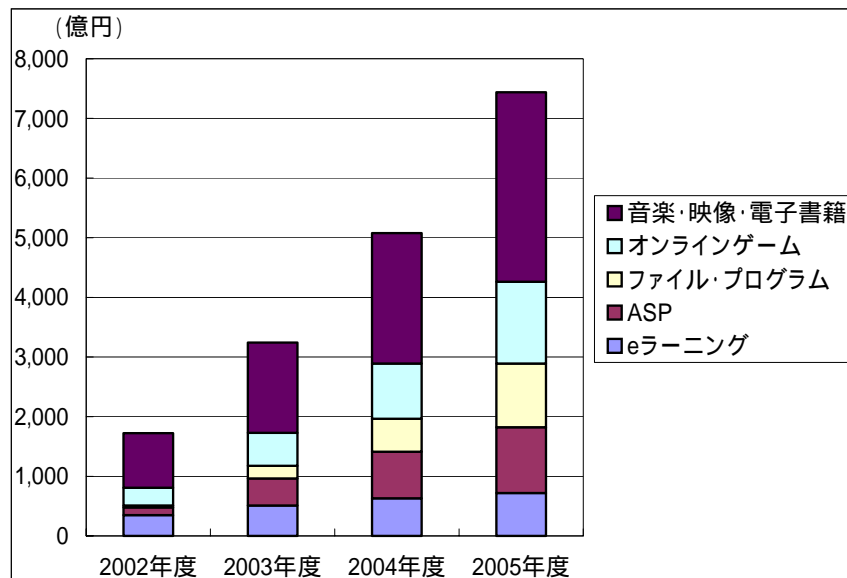
3.1 アプリケーション・レイヤ

ブロードバンドの普及により、ようやくコンテンツ・アプリケーション市場が開拓される可能性がでてきている。ブロードバンドユーザが 1000 万に近づき、コンテンツプロバイダやコンテンツ・アグリゲータの取組みも積極化している。

映像コンテンツでは、根強いファンがいるコンテンツ、通常のテレビでは視聴できないコンテンツを中心に拡大し、2005 年度には 794 億円に達する見通しである。

ASP も現在の 130 億円から、2005 年度は 1103 億円まで拡大する。ブロードバンドの拡大と、顧客の業種や業務を絞り込んだサービスの展開がアウトソーシングニーズとマッチし、拡大する。

図 2 アプリケーション・レイヤの市場規模予測



資料：三菱総合研究所

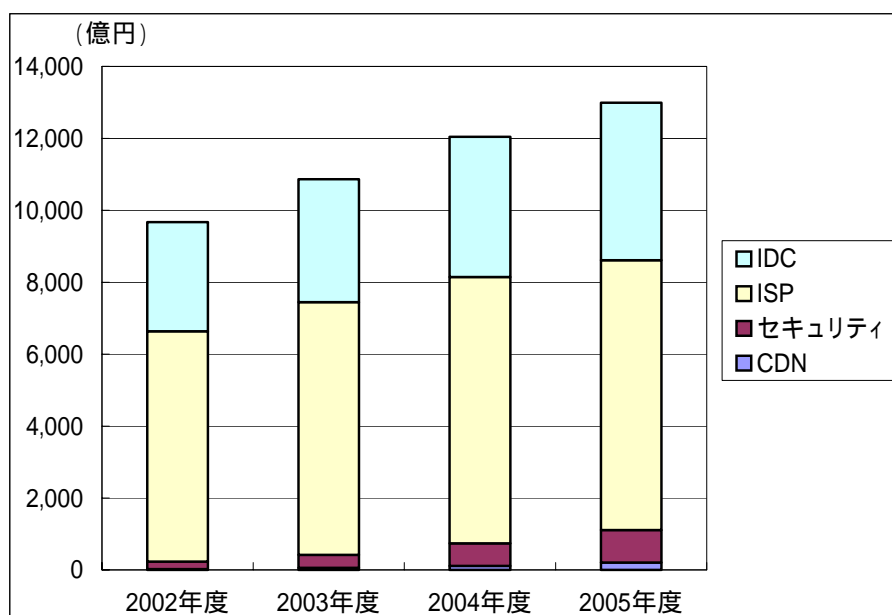
3.2 プラットフォーム・レイヤ

プラットフォーム・レイヤは、年率 10.3%で成長し、2005 年度に 1.3 兆円まで拡大するが、その背景には、企業におけるアウトソーシングニーズの拡大がある。

内訳をみると、これまで中心であった ISP の伸びは低下し、今後は CDN やセキュリティサービスなどが急成長する。IDC は年率 13.1% 増で安定的に成長する。

これまで e ビジネスのプラットフォームは Sier がサーバを構築するという形態で提供してきたが、今後はネットワークを経由して、顧客に汎用的なプラットフォーム機能を提供する xSP (各種サービスプロバイダ) が提供していくと想定される。今後もプラットフォーム・レイヤはさまざまな機能を取り込みながら拡大すると思われる。

図3 プラットフォーム・レイヤの市場規模予測



資料：三菱総合研究所

3.3 ネットワーク・レイヤ

インターネット接続回線市場は、ADSL、FTTH の普及により拡大する。コンシューマ向け FTTH サービスでは、2005 年度末には一戸建て月額 4000 円、マンション向け月額 2500 円が実現され、約 700 万世帯まで普及する見通しである。

企業通信網については、従来の専用線から、IP-VPN、広域イーサネット、インターネット VPN などの網型サービスへの移行により、縮小する。

IP 電話は、2005 年度末において、925 万世帯、11 万企業まで普及する見通しである。市場規模は、コンシューマ向け 2,486 億円、企業向け 1,334 億円まで拡大する。

携帯電話・PHS は、2005 年度に 9,217 万契約まで拡大し、そのうち 2,217 万契約が IMT-2000

端末と推定する。ネットワークサービス収入（データ伝送）は 2.1 兆円となる見通しである。

デジタル放送サービスでは、BS デジタルが準基幹メディアとして成長し、2005 年度末には 717 万世帯まで拡大する。

3.4 端末レイヤ

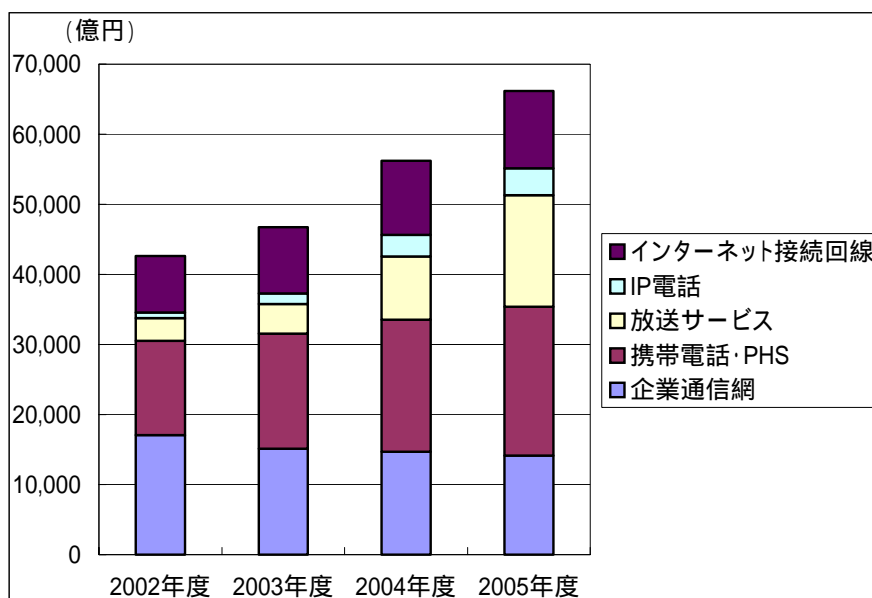
企業内では PC を中心として、多端末化が進んでおり、一人のユーザがビジネスシーンに応じて、端末を柔軟に使いこなすようになると思われる。企業向け PC の市場規模は、現在の 9,518 億円から、2005 年度には 9,651 億円まで増加する。

家庭内 PC はすでに 6 割近くまで普及しており、新規需要は見込めない。今後はホームサーバ・ニーズ、1 人 1 台ニーズが需要を喚起するが、本格的に需要が拡大するのは、2005 年度になってからと予想される。

家庭用ゲーム機は、2005 年度に PS3 等の次世代機が登場するまで、縮小していくと予想される。2005 年度には 1,150 万台、2,127 億円まで回復する。

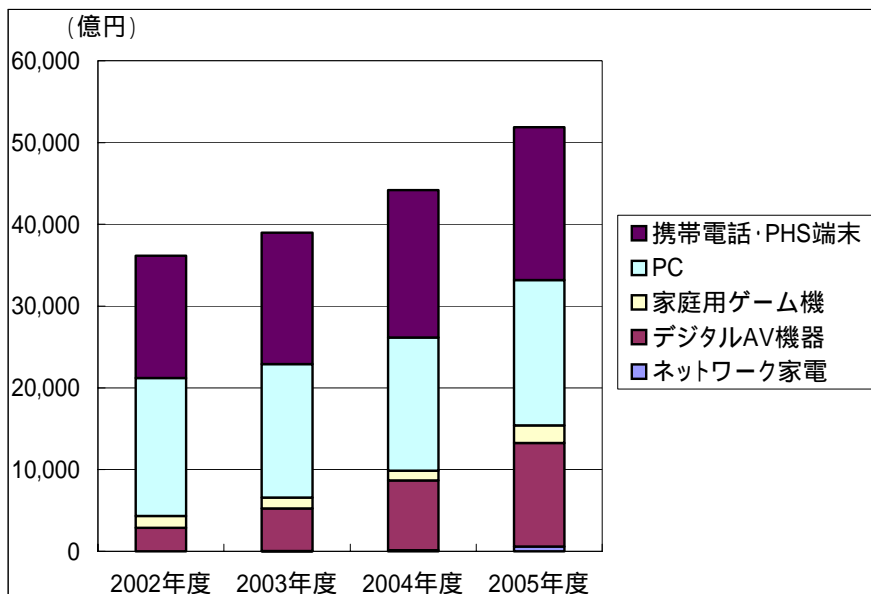
デジタル AV 機器は、地上波デジタル化などの影響を受け、拡大し、デジタル放送受信機は 2005 年度に 8,190 億円まで拡大する。DVD レコーダやハードディスクレコーダなどの PVR(プライベート・ビデオ・レコーダ)もホームサーバの主役となり、2005 年度には 4,493 億円に達する。

図4 ネットワーク・レイヤの市場規模予測



資料：三菱総合研究所

図5 端末レイヤの市場規模予測



資料：三菱総合研究所

<参考> 加入数、回線数等の予測結果

		2003.3	2004.3	2005.3	2006.3
インターネット普及世帯数	千世帯	22,825	26,504	29,407	31,613
インターネット普及世帯比率	%	47.6	54.9	60.5	64.8
インターネット接続回線(世帯)					
加入電話によるダイヤルアップ	千世帯	8,467	7,124	5,595	4,391
I S D N (フレッツ・ISDN 含む)	千世帯	4,709	4,376	4,191	4,065
無線接続(カード型 PHS 接続等含む)	千世帯	616	1,160	1,472	1,610
CATV インターネット	千世帯	2,189	3,330	3,742	3,908
ADSL	千世帯	6,486	8,857	10,313	10,661
光ファイバー	千世帯	358	1,657	4,096	6,976
IP 電話利用世帯	千世帯	2,111	4,261	7,099	9,254
地上デジタル	千世帯	-	0	1,822	4,048
BS デジタル	千世帯	1,800	2,373	4,124	7,167
CS デジタル	千世帯	4,175	5,228	6,060	6,595
携帯電話・PHS 累積契約台数	千件	80,240	85,697	89,388	92,170
うち IMT-2000 端末	千件	7,189	11,639	15,429	22,177
インターネット利用企業数	社	1,360,299	1,441,716	1,448,567	1,452,420
インターネット利用企業数	%	84.9	90.6	91.7	92.5
インターネット接続回線(企業)					
電話回線によるダイヤルアップ	社	115,450	100,308	81,574	68,670
I S D N によるダイヤルアップ	社	274,694	221,520	177,396	149,445
I S D N による常時接続(フレッツ・I S D N)	社	255,455	246,221	229,976	209,309
専用線	社	158,471	123,960	96,893	83,872
C A T V インターネット	社	43,228	41,157	33,292	29,300
A D S L	社	373,981	470,833	517,003	504,828
光ファイバー	社	124,596	222,477	296,675	378,411
無線インターネット(スピードネットなど)	社	45	2,187	6,456	15,902
その他	社	14,346	13,053	9,302	12,683
IP 電話利用企業	社	56,903	81,457	101,529	113,576

資料：三菱総合研究所

◆報告書の内容に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

株式会社三菱総合研究所

情報通信政策部 部長 佐野 E-mail: sinya@mri.co.jp TEL : 03-3277-0760

広報部広報グループ TEL : 03-3277-0003